

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
北海道	おおぞらちよう 大空町	<p>大空町は、2040年の人口6,000人規模確保に向け、①出生率を「1.71から2.20へ」高める、②若い世代の人口流出を抑制する、この2点を大きな目標に掲げ、それを実現させる4本の施策の柱をたてています。</p> <p>一つ、「ひとを育む～子ども・子育て支援～」では、子育ての喜びを実感できる環境をつくるため、結婚・妊娠・出産への支援や子育て世帯の経済的支援などを大胆に実施していきます。</p> <p>一つ、「ひとを呼び込む～移住・定住の促進と交流人口の増大～」では、行きたい、住みたい、住み続けたい、魅力あふれるまちをつくるため、移住者の受け入れや定住促進、女満別空港を活かした交流人口の増大を図っていきます。</p> <p>一つ、「活力を産み出す～産業振興としごとづくり～」では、産業の振興と安定した就業環境をつくるため、地域資源を活かした産業の創出や雇用機会の確保・創出を図っていきます。</p> <p>一つ、「ひとを活かす ひとが輝く～地域を支えるひとづくり～」では、いきいきと活力みなぎる個性豊かな地域をつくるため、地域を支え、時代を担う人づくりを進めていきます。</p> <p>大空町総合戦略は、この4本の柱が総合的に展開されることで、好循環が生まれ、掲げた目標の実現、ひいては、全ての町民がしあわせを実感できるまちを実現します。</p>
岩手県	かねがさきちよう 金ヶ崎町	<p>【金ヶ崎町人口ビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町の人口ビジョンは、平成72年(2060年)までの期間を対象とし、平成52年(2040年)と平成72年(2060年)の目標人口を次のとおり設定しています。 (参考2017年10月1日現在 15,779人)⇒ 2040年 14,000人、2060年 12,000人 ・人口対策の基本的視点として次の3点に絞り、これに対応する施策の展開を図っていくものとしています。 <p>①社会動態の基調維持(仕事創出)・・・県内最大の岩手中部(金ヶ崎)工業団地を中心とする製造業の集積等、堅調な雇用情勢によって、社会動態でのプラス基調を維持できている。 今後も雇用の維持・拡大に努め、若者や子育て世代など幅広い年齢層の定住促進を図る必要がある。</p> <p>②女性の転出抑制・転入促進・・・女性にとって魅力的なまちづくりや、仕事・社会活動などで女性が活躍できる場の提供に取り組む必要がある。</p> <p>③出生率の向上・・・切れ目ない充実した「出産・子育て」支援が必要である。</p> <p>【金ヶ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度～平成31年度の5年間を計画期間としています。 ・金ヶ崎町人口ビジョンを踏まえ、3つの重点戦略とそれぞれの施策を定めています。 <p>①若者が暮らしたいまちを創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した雇用の維持と、多様な働く場の創出 ・若者同士や世代間で交流できる場の整備、支援 ・出会いから結婚、子育てまでを応援できる環境の整備 ・地域への誇りや愛着心が育まれる環境の整備 <p>②女性にとって魅力的なまちを創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性にとって魅力的な働く場の創出 ・都会にはない地方の魅力を発信する機会の創出 ・結婚・出産・子育てまで、切れ目ない安心できる環境の整備 ・ワークライフバランスが実現できる環境の整備 <p>③活力と特色のある地域を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誇りの持てる地域産業の育成 ・地域内、地域外との交流の場の整備 ・多様な価値観を認め合い、子育てしやすい環境の整備 ・地域づくりを支援し、高齢者が活躍できる場の創出

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要				
福島県	あいづみさとまち 会津美里町	<p>【人口ビジョン(人口の将来展望)】 本町の人口は、1950年(昭和25年)の38,779人をピークに年々人口が減少し、2015年(平成27年)には20,913人となり、2040年(平成52年)には11,090人程度まで減少すると推計されています。本町には若者に魅力のある企業が少ないことから、高校卒業後の就職や大学への進学、また大学卒業後の就職の機会に県外へ転出することが人口減少の要因であります。若い世代の減少は子育て世代の減少につながることから、高校や大学の卒業後、地元で就職することができるよう「安定した雇用の場」を確保し、安心して結婚・出産・子育てができる環境の整備と、「移住定住の促進」により新しい人の流れをつくるなどの対策が必要です。 そのため、行政と住民が一体となり、課題解決に向け、将来を見据えた計画性のある事業を継続的に展開することにより、20歳代の人口流出を抑制し、町全体の人口減少に歯止めをかけ、2040年の将来目標人口を12,739人とすることを目指し、若者に魅力あるまちづくりを推進します。</p> <p>【総合戦略(基本目標・具体的施策)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">基本目標 1：本町における安定した雇用を創出する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 農業を担う人材の育成と確保 (2) 地域資源を活用した六次産業化の推進 (3) 農産物のブランド化と販路開拓・販路拡大に対する支援 (4) 既存企業の育成支援 (5) 新規起業の支援 (6) 地域の特性を活かした雇用の創出 (7) 生活支援サービスの充実による雇用の創出 (8) 若年世代の就職支援 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">基本目標 2：本町への新しい人の流れをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 移住の促進 (2) 定住の促進 (3) 空き家の有効活用による移住定住の促進 (4) 新たな魅力の創出による交流人口の拡大 (5) 観光業の振興による交流人口の拡大 (6) 故郷を愛する心を育む教育 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">基本目標 3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 出会いと結婚の支援 (2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 (3) 安心して子育てができる環境の整備 (4) 子ども教育の充実 (5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) </td> <td style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">基本目標 4：時代に合った安全安心な地域をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域における防災の強化 (2) 地域に即した公共交通体系の確立 (3) 地域活動の再構築 (4) 低・未利用ストックの地域資源化 (5) 文化財を活用した地域づくり </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;">基本目標 1：本町における安定した雇用を創出する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 農業を担う人材の育成と確保 (2) 地域資源を活用した六次産業化の推進 (3) 農産物のブランド化と販路開拓・販路拡大に対する支援 (4) 既存企業の育成支援 (5) 新規起業の支援 (6) 地域の特性を活かした雇用の創出 (7) 生活支援サービスの充実による雇用の創出 (8) 若年世代の就職支援 	<p style="text-align: center;">基本目標 2：本町への新しい人の流れをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 移住の促進 (2) 定住の促進 (3) 空き家の有効活用による移住定住の促進 (4) 新たな魅力の創出による交流人口の拡大 (5) 観光業の振興による交流人口の拡大 (6) 故郷を愛する心を育む教育 	<p style="text-align: center;">基本目標 3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 出会いと結婚の支援 (2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 (3) 安心して子育てができる環境の整備 (4) 子ども教育の充実 (5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) 	<p style="text-align: center;">基本目標 4：時代に合った安全安心な地域をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域における防災の強化 (2) 地域に即した公共交通体系の確立 (3) 地域活動の再構築 (4) 低・未利用ストックの地域資源化 (5) 文化財を活用した地域づくり
<p style="text-align: center;">基本目標 1：本町における安定した雇用を創出する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 農業を担う人材の育成と確保 (2) 地域資源を活用した六次産業化の推進 (3) 農産物のブランド化と販路開拓・販路拡大に対する支援 (4) 既存企業の育成支援 (5) 新規起業の支援 (6) 地域の特性を活かした雇用の創出 (7) 生活支援サービスの充実による雇用の創出 (8) 若年世代の就職支援 	<p style="text-align: center;">基本目標 2：本町への新しい人の流れをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 移住の促進 (2) 定住の促進 (3) 空き家の有効活用による移住定住の促進 (4) 新たな魅力の創出による交流人口の拡大 (5) 観光業の振興による交流人口の拡大 (6) 故郷を愛する心を育む教育 					
<p style="text-align: center;">基本目標 3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 出会いと結婚の支援 (2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 (3) 安心して子育てができる環境の整備 (4) 子ども教育の充実 (5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) 	<p style="text-align: center;">基本目標 4：時代に合った安全安心な地域をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域における防災の強化 (2) 地域に即した公共交通体系の確立 (3) 地域活動の再構築 (4) 低・未利用ストックの地域資源化 (5) 文化財を活用した地域づくり 					

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
千葉県	あびこし 我孫子市	<p>当市は、平成23年を境に人口は減少しており、少子高齢化は今後ますます進んでいくことが見込まれている。この人口の減少が、経済活動の縮小やそれに伴う税収の減少、コミュニティ機能の低下など、将来のまちづくりに大きな影響を及ぼすことが懸念されている。</p> <p>地方創生については、国と地方が一体となり、中長期的な視点に立って取り組む必要があることから、我孫子市においても、国や千葉県のビジョンや総合戦略を勘案しながら、市の人口の現状と将来の展望を示した「我孫子市人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という。)」と「我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「本総合戦略」という。)」を策定した。</p> <p>本総合戦略では、我孫子市の地方創生に係る今後5か年の目標、基本的方向、講ずべき施策を明かし、これらの施策を推進することで、我孫子市に住み、働き、豊かな生活を送りたい人を増やし、その希望をかなえられる社会環境の実現を目指すものである。</p> <p>本総合戦略は、我孫子市第三次基本計画(平成28～33年度)とも十分に整合を図りつつ、人口ビジョンで定めた長期展望を踏まえ、今後5年間(平成27～31年度)で実施すべき戦略を定めるものであり、目指すべき将来の目標を4点定めている。</p> <p>基本目標1 あびこを支える産業を応援し、いつでも働けるまちづくり</p> <p>1.地元企業への持続的な支援と雇用の安定化 2.産業の振興・創業支援と企業誘致の促進 3.地域農業の担い手となる経営体の育成強化による農業振興</p> <p>基本目標2 あびこの魅力があふれ、にぎわいを生むまちづくり</p> <p>1.我孫子の魅力を活かした定住促進 2.大学・企業との連携強化 3.地域資源を活かし観光振興による交流人口の増加</p> <p>基本目標3 あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり</p> <p>1.結婚・妊娠・出産・子育てまでの継続的支援 2.子育て世帯への支援の充実 3.安心して学べる教育環境づくり</p> <p>基本目標4 あびこにずっと安心してすみ続けられるまちづくり</p> <p>1.健康づくりの推進 2.生活環境の充実 3.行財政運営の効率化 4.地域力の向上</p> <p>また、人口ビジョンは対象期間を平成72年までとし、目指すべき将来の方向性と将来展望を以下のとおりとした。</p> <p>方向性1 人口増加の取り組み 地理的優位性や豊かな自然環境を活かし、快適な住環境を形成</p> <p>方向性2 人口自然増加の取り組み 若者や女性が希望を持って、安心して暮らせる地域社会を形成</p> <p>方向性3 まちづくりの取り組み 多様な主体や世代が連携し、人口減少に対応したまちづくりを推進</p> <p>将来展望 平成52年 人口 105,654人 平成72年 87,231人 約9万人を確保するものとする。</p> <p>推進にあっては、国と地方が一体となり、中長期的な視点に立って取り組む必要があることから、相乗的に推進が図られるように努める。</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
千葉県	ながらまち 長柄町	<p>【長柄町人口ビジョン】 本町の人口は、1995年まで増加傾向にあったが、2000年から減少傾向が続いている。 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本町の人口は今後長期的に減少し、2060年の人口が3,276人になると予測されている。 本ビジョンでは、人口減少の克服、地域経済の発展、活力ある地域社会の形成に向け、人口問題とともに地域経済・社会の課題に一体的な取り組みを行うことにより2060年の将来人口4,907人を目指す。</p> <p>【長柄町「まち・ひと・しごと創生」総合戦略】 人口ビジョンで示した「2060年に4,907人を確保」することを目指し、総合戦略では、「生命(いのち)をながらえ、次代へつなぐ地域づくり」を戦略理念として「まち」「ひと」「しごと」に対する取組を総合的に進めながらも、重点的に次の4つの基本目標を掲げ、目標達成に向け8本の戦略プロジェクト及び施策を設定し取り組む。</p> <p>＜基本目標＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「若者就業のまち」 <ul style="list-style-type: none"> (1) 農林業活性化プロジェクト：・創業支援、販路開拓整備事業・担い手育成、新規就農者育成支援事業・里山再生事業 (2) 雇用機会拡大プロジェクト：・企業誘致支援事業・ひと、しごとバンク事業・千葉大学COC+連携事業 2. 「集い定住するまち」 <ul style="list-style-type: none"> (3) にぎわい創出プロジェクト：・観光振興魅力発信事業・定住促進、交流人口アップ事業・千葉大学COC+連携事業 (4) 移住・定住促進プロジェクト：・長柄町版生涯活躍のまち推進事業・空き家活用等住宅関連事業・千葉大学COC+連携事業 3. 「ライフスタイルの希望をかなえるまち」 <ul style="list-style-type: none"> (5) 結構・妊娠・出産応援プロジェクト：・婚活イベント支援事業・不妊治療助成事業・母子保健事業 (6) 子育て支援充実プロジェクト：・子育て関連(スタート支援、医療費助成)事業・こども学習支援事業・中学生海外交流事業 4. 「安心・快適で魅力あるまち」 <ul style="list-style-type: none"> (7) ながら生活応援プロジェクト：・健康寿命延伸事業・交通弱者対策事業・スマートIC周辺整備事業・ボランティア活動支援 (8) スポーツ・交流活動振興プロジェクト：・オリパラ支援事業・スポーツ普及事業

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
富山県	氷見市 <small>ひみし</small>	<p>1 人口ビジョン</p> <p>(1) 観点 希望をかなえ、持続可能な社会にするために、「ライフステージごとの人口移動」を分析して、「氷見市の15の観点」から人口目標を設定</p> <p>(2) 人口展望</p> <p>① 条件設定 ア 社会純増 国立社会保障・人口問題研究所の推計値(ただし、2020年に社会純減が半減→半減しないとして推計)+150人の社会純増 イ 出生合計特殊出生率 2015年 1.37 2030年 1.90 2040年 2.07</p> <p>② 人口推計 2010年 51,725人 2040年 36,610人 2060年 30,129人 持続可能な寸胴型の人口ピラミッドを目指す。</p> <p>2 氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>(1) 策定までの経緯 産官学金労言や住民の代表者50人で構成する推進協議会や庁内の推進本部、市内全地区でのタウンミーティングの意見等をもとに策定</p> <p>(2) 戦略の内容</p> <p>① 5年で実現する「氷見7つの創生」 「日本の魚食文化をリードする」「里山における幸福の掛け算を追求する」「回遊する人材を定置網のように受け止める」 「子育て・家庭・仕事それぞれの人生の時間が輝く氷見に住む」 「対話と共創でMY地方創生」「私の健康長生きが氷見市を支える」「地域100年の大計をつくる」</p> <p>② 重視する視点 「希望をかなえる」「持続可能な社会を実現する」</p> <p>③ 基本目標 I 氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす II 「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する III 氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす IV 暮らし続けられるまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
石川県	ほくさんし 白山市	<p>《白山市人口ビジョン》 本市では1980年以降自然動態、社会動態とも増加していたが、2010年頃を境として、出生数よりも死亡者数が多い自然減及び転入者数よりも転出者数の多い社会減に転換し、人口減少が生じている。また、平成27年国民調査人口は、109,287人で、前回22年調査よりも1,172人の減少となっている。全国的な動向を勘案すれば、国立社会保障・人口問題研究所の推計が示すように、将来的にもこの傾向は続くものと考えられる(国立社会保障・人口問題研究所の示す本市の将来の推計人口は、平成72(2060)年では79,790人)国における出生率の上昇に向けた取り組みに加え、本市の魅力を最大限に活かし、企業誘致をはじめ、土地区画整理事業の促進や、移住・定住施策による転入者の増加や転出者の縮減など、各種施策・事業を推進することで人口減少の抑制を目指し、白山市としては2060年、10万人の確保を目指す。</p> <p>《白山市まち・ひと・しごと 創生総合戦略》 これまでのまちづくりにおける基本的な考え方や国が示す政策5原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)を踏まえ、中長期的な将来展望を見据えつつ、具体的かつ実効性のある施策・事業を展開することにより、「まち」「ひと」「しごと」を創生することで、人口減少や少子高齢化の進行による地域経済や地域社会の縮小を克服し、本市の持続的発展の実現を目指す。 本戦略の計画期間は、平成27(2015)年度～平成31(2019)年度の5か年とする。 人口ビジョンで掲げる平成72(2060)年に人口10万人の確保を実現するためには、本戦略の目標年次である平成31(2019)年には概ね109,500人の人口を維持する必要がある。そのため、基本目標ごとに成果指標および重点的な取り組みを設定し、施策展開を図る。</p> <p>基本目標</p> <p>①商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」創生戦略 <成果指標> 基準(H26) 目標(H31) 市内従業者数 53,650人 ⇒ 55,400人 <重点的な取り組み> ○6次産業化の取り組み支援 ○創業支援の推進 ○企業誘致の推進</p> <p>②白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光交流」創生戦略 <成果指標> 基準(H26) 目標(H31) 人口の社会増減数 ▲133人 ⇒ +500人(5年間) 観光入込客数 496万人 ⇒ 550万人 <重点的な取り組み> ○市外からの定住者への住宅購入費等の支援 ○土地区画整理事業による宅地の整備促進 ○白山開山1300年を契機とした白山ブランド確立に対する支援 ○地元大学の機能強化 ○日本版CCRCの推進(多世代交流・多機能型拠点の整備) ○高等教育機関のキャンパスや研修施設設置による地域産業振興の推進</p> <p>③安心して子どもを産み育てられる「子育て・教育」創生戦略 <成果指標> 基準(H26) 目標(H31) 合計特殊出生率 1.44 ⇒ 1.54 <重点的な取り組み> ○子育てに関する経済的負担の軽減 ○夜間・休日小児医療の診療体制の構築 ○3世代同居・近居の支援 ○若年層の新築住宅の購入への支援 ○新婚者への家賃補助</p> <p>④平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生戦略 <成果指標> 基準(H26) 目標(H31) 住み良いと感じる割合 59% ⇒ 70% <重点的な取り組み> ○公共交通の利便性の向上 ○空き家対策の推進 ○連携中枢都市圏の推進 ○市民提案型によるまちづくりの推進</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
福井県	いけだちよう 池田町	<p>【池田町人口ビジョン】 福井県池田町の人口は1950年では8,380人いたが、1980年では4,510人、2010年では3,046人と減少し続け、現状が続けば、2040年では1,298人、2060年では581人まで減少すると推計している。</p> <p>【池田町総合戦略】 池田町の「ふつうにあるあたりまえの暮らし」の豊かさを伝え、規模の経済とは異なる価値観の経済としての「顔が見える経済」を内発的に構築するほか、「農村」の集落や地域が有する協働する力「相互扶助する力」を取り戻し、小さな社会ならではの豊かな生活環境を再構築することで、未来においても安心して暮らせる地域を構築していくと総合戦略で述べている。総合戦略では「すみか、しごと、なかま」の枠で政策を整理している。</p> <p>●「すみか」・・・安心して心地よい暮らしの生活空間を守り生み出す。 自然豊かで恵まれた環境にある池田町は、田園生活を営む上で魅力的な条件を備えている。また、もとより人口8,000人が暮らしていた地域には、田園回帰を求めるUIターン者の暮らす居住空間が残されており、かつ、おいしい水や空気の資源も豊富である。これらを守りつつ、心地よい暮らしの環境を町民と共にさらに高めることを目指す。</p> <p>●「しごと」・・・「顔が見える地産地消地商の経済」を推進し、半農多業化など多様な生業を育む。 農村にある地域資源からは生業的な仕事づくりや、新しいスタイルの商品開発が可能となる。食・観光分野での新たな起業や、半農半Xスタイルでの多様な仕事のあり方が可能となることで、「お金を稼ぐ」と「個性を輝かせる」ことの両立が実現する。また、グローバル化する経済に対抗して地域を守っていくための循環型経済システムの構築に向けて行政がリーダーシップを発揮していく。</p> <p>●「なかま」・・・小さな強み、小さな不安を「つながる関係」が支える幸福を創造する。 都市での暮らしの「無縁化」「孤立化」、企業における「人の部品化」などは人々が関係しながら生きる社会にとっては不安といえる。一方、農村においては、「向う三軒両隣」「お裾分け」「小さなおせっかい」などといった、GDPに加算されない安心感があり、豊かさが残っている。この「つながる関係」の幸福度を定住促進に生かしていく。</p>
長野県	いいたし 飯田市	<p>○人口ビジョン(2045年) 定住人口91,000人 休日滞在人口率 2倍(182,000人)</p> <p>○総合戦略(平成27年度～平成31年度) 〈総合戦略の方向〉 リニア時代を見据え、地域に活力を生む「知の拠点」の形成と世界に誇れる飯田のライフスタイルの提案</p> <p>〈4つの柱と基本目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 若者が帰ってこられる産業をつくる(学卒者の地域内回帰・定着率:43.9%⇒50%) 2 飯田市への新しい人の流れをつくる(休日滞在人口率:1.44倍⇒1.50倍) 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる(合計特殊出生率:1.76⇒1.80) 4 環境と経済が好循環する低炭素なまちをつくる(温室効果ガス削減量:35,417t-CO2⇒66,303t-CO2) <p>〈4つの柱の実行性を高める取組〉 ・産業振興の「知の拠点づくり」</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
岐阜県	ひだし 飛騨市	<p>【地方人口ビジョンの概要】 国立社会保障・人口問題研究所では、平成52年の飛騨市の総人口は平成22年の26,732人から約40.5%減少した15,904人になると推計。これらには「少子高齢化による自然減」、「職業上・学業上の転出による社会減」が大きな影響を与えている。人口構成比の維持が重要なポイントである。(平成27年の人口構成比 = 年少人口11.4:生産年齢人口51.0:老年人口37.6)</p> <p>【地方版総合戦略の概要】</p> <p>○基本目標Ⅰ:生産年齢人口を支える産業の振興と雇用の促進 地域経済を支える事業者の育成と支援、観光・交流産業の育成と支援、既存ストックのマネジメント強化、生産年齢人口を受け止める雇用の場の創出、女性の社会進出の促進</p> <p>○基本目標Ⅱ:子育て世代に選ばれる魅力ある子育て環境と教育の推進 安心して子育てができる環境の充実、特色ある学校教育の充実、安心して教育が受けられる環境の充実</p> <p>○基本目標Ⅲ:地域資源の活用による魅力創出・ひとが集まる仕組みづくり 地域を支える人材の流入促進と支援、挑戦者を支える仕組みの整備、地域資源の利活用の推進、住居・住環境の充実、情報化の充実、豊かな水循環の保全</p> <p>○基本目標Ⅳ:住み慣れた地域で安心して生活できる仕組みの整備 地域福祉活動の推進、地域医療体制の確保・充実</p> <p>○基本目標Ⅴ:住み慣れた地域で安心して生活できる基盤の整備 防災対策の充実、消防・救急体制の充実(常備消防・消防団)、交通手段や交通網の充実、交通安全・防犯対策の推進</p> <p>○基本目標Ⅵ:時代に合った地域をつくり、豊かな暮らしを守る 協働とコミュニティの推進、文化活動の振興、循環型社会・環境保全対策の推進、健康づくりの推進、生涯学習の推進、生涯スポーツの推進</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
静岡県	<p style="text-align: center;">あたまし 熱海市</p>	<p>【熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン】 本市の人口は、昭和40年の54,540人をピークに約半世紀にわたり減少傾向にあり、平成29年10月1日現在、37,576人となっている。 国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した見込みでは、平成72年(2060年)には、13,739人と推計されている中で、持続可能な地域社会を実現するため、平成72年(2060年)に2万人程度の人口を維持することを目指し、若い世代の転出者の抑制及び転入による社会動態の改善(39歳以下の社会減を50%削減)、出生率の向上(2020年に出生率1.50)による自然動態の改善を図っていくとともに、地域経済の縮小を防ぐため、宿泊客の増加や別荘所有者の来訪頻度の向上(2020年に平日滞在人口率2.0、休日滞在人口率2.2)を図っていく方向性を明示。</p> <p>【熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略】 熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの方向性を踏まえ、平成27年度からの5か年計画として、5つの基本目標を掲げ、人口減少の克服と地域活性化に取り組んでいくこととしている。</p> <p>基本目標1 日本でNO.1の温泉観光地を目指す(観光客数の増加、インバウンドへの対応) 基本目標2 若者の安定した雇用を創出する(労働力の確保、起業家支援による創業) 基本目標3 新しい人の流れをつくる(若者の移住定住の促進、別荘所有者等による滞在人口の増加) 基本目標4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる(教育・保育の総合的な提供及び保育サービスの充実、産み育てやすい子育て環境の充実、就労支援) 基本目標5 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する(安全・安心のまちづくり、住みやすさの追求、健康で生きがいのある暮らしの確保)</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
静岡県	しもだし 下田市	<p>●人口ビジョンの概要</p> <p>【人口推計】 本市の総人口は昭和50年をピークに減少し、世帯数も平成12年以降減少に転じている。平成27年国勢調査では22,916人と昭和50年の31,700人と比べ約3割減となっている。</p> <p>【将来人口目標】 平成52年:16,058人 平成72年:12,219人(国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した見込みでは、平成52年には総人口が14,863人)</p> <p>【合計特殊出生率】 平成20年～平成24年:1.54 → 平成52年までに2.07に誘導する。</p> <p>●総合戦略の概要</p> <p>【コンセプト】 下田市の魅力を活かした世界に誇る『ふるさとづくり』～伊豆半島地域を牽引するグローバルな交流と地域資源の活用～</p> <p>【基本目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 下田のプレゼンス向上のための観光づくり <ol style="list-style-type: none"> ①下田市の魅力を伝える効果的な情報発信、②自然・食・歴史・人を活かした魅力を向上させるまちづくりの推進 ③外国人観光客に対応した環境整備の促進、④回遊性を高める交通環境整備 2 下田の魅力を活かした交流産業づくり <ol style="list-style-type: none"> ①下田市の強みを維持向上させる産業振興、②新たな活力を生む雇用創出と既存企業の支援 3 下田の未来につなげる人づくり <ol style="list-style-type: none"> ①移住・定住促進につなげる支援の展開、②切れ目のない子育て支援サービスの充実、③郷土愛を育む教育環境の整備 4 下田に暮らし続けられる地域づくり <ol style="list-style-type: none"> ①互いに支え合う地域コミュニティの維持・形成、②生活者を支援する地域社会の形成、③安全・安心の基盤強化

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要																		
滋賀県	ながはまし 長浜市	<p>【人口ビジョン】 人口減少を克服し、活力あるまちを維持するため、長期的展望及び3つの目標を掲げ、自然増・社会増に係る施策を同時並行かつ相乗的に推進する。</p> <table border="1" data-bbox="349 363 1729 469"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">◆2060年(H72)に人口規模100,000人の維持及び人口構造の若返りを目指す◆</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①合計特殊出生率の上昇</td> <td style="text-align: center;">②雇用の場の確保による青年層の人口流出抑制</td> <td style="text-align: center;">③子育て世代の転出抑制と転入促進</td> </tr> </table> <p>【総合戦略】 人口ビジョンを踏まえ、本市の「まち・ひと・しごと創生」に向けて、4つの基本目標を設定し、具体的施策に取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="349 577 1908 941"> <tr> <td style="width: 30%;">①産業振興により 「活力あるまち」を創造します</td> <td style="width: 35%;">*地域資源を生かした産業振興と創業支援 *グローバル展開を目指す地元企業の育成 *足腰の強い「農林業」の再生と生産物の高付加価値化</td> <td style="width: 35%;">*バイオ技術を活用した次世代成長産業の振興 *企業誘致の促進や地元企業への持続的な経営支援 *観光産業の振興と交流人口の拡大</td> </tr> <tr> <td>②地域資源を生かし 「魅了するまち」を創造します</td> <td>*地域資源を生かした都市ブランド力の強化と観光振興 *地元大学等の機能強化</td> <td>*「移住・定住」と「U・J・Iターン」の促進</td> </tr> <tr> <td>③子育て世代から 「選ばれるまち」を創造します</td> <td>*子ども子育て支援・少子化対策の推進 *安心・安全・快適な子育て環境の提供(都市空間創造)</td> <td>*多子世帯支援の強化</td> </tr> <tr> <td>④時代に合った都市をつくり 「安心して住み続けたいまち」 を創造します</td> <td colspan="2">*地域の経営資源を生かした都市機能の強化(交通インフラを生かした都市機能の集約・強化) *既存ストック等の利活用や小さな拠点形成による地域活性化(多機能型福祉・地域共生拠点づくりの推進等) *次世代エネルギーの都市的利用の促進(「水素エネルギー」を生かした近未来都市づくり)</td> </tr> </table>	◆2060年(H72)に人口規模100,000人の維持及び人口構造の若返りを目指す◆			①合計特殊出生率の上昇	②雇用の場の確保による青年層の人口流出抑制	③子育て世代の転出抑制と転入促進	①産業振興により 「活力あるまち」を創造します	*地域資源を生かした産業振興と創業支援 *グローバル展開を目指す地元企業の育成 *足腰の強い「農林業」の再生と生産物の高付加価値化	*バイオ技術を活用した次世代成長産業の振興 *企業誘致の促進や地元企業への持続的な経営支援 *観光産業の振興と交流人口の拡大	②地域資源を生かし 「魅了するまち」を創造します	*地域資源を生かした都市ブランド力の強化と観光振興 *地元大学等の機能強化	*「移住・定住」と「U・J・Iターン」の促進	③子育て世代から 「選ばれるまち」を創造します	*子ども子育て支援・少子化対策の推進 *安心・安全・快適な子育て環境の提供(都市空間創造)	*多子世帯支援の強化	④時代に合った都市をつくり 「安心して住み続けたいまち」 を創造します	*地域の経営資源を生かした都市機能の強化(交通インフラを生かした都市機能の集約・強化) *既存ストック等の利活用や小さな拠点形成による地域活性化(多機能型福祉・地域共生拠点づくりの推進等) *次世代エネルギーの都市的利用の促進(「水素エネルギー」を生かした近未来都市づくり)	
◆2060年(H72)に人口規模100,000人の維持及び人口構造の若返りを目指す◆																				
①合計特殊出生率の上昇	②雇用の場の確保による青年層の人口流出抑制	③子育て世代の転出抑制と転入促進																		
①産業振興により 「活力あるまち」を創造します	*地域資源を生かした産業振興と創業支援 *グローバル展開を目指す地元企業の育成 *足腰の強い「農林業」の再生と生産物の高付加価値化	*バイオ技術を活用した次世代成長産業の振興 *企業誘致の促進や地元企業への持続的な経営支援 *観光産業の振興と交流人口の拡大																		
②地域資源を生かし 「魅了するまち」を創造します	*地域資源を生かした都市ブランド力の強化と観光振興 *地元大学等の機能強化	*「移住・定住」と「U・J・Iターン」の促進																		
③子育て世代から 「選ばれるまち」を創造します	*子ども子育て支援・少子化対策の推進 *安心・安全・快適な子育て環境の提供(都市空間創造)	*多子世帯支援の強化																		
④時代に合った都市をつくり 「安心して住み続けたいまち」 を創造します	*地域の経営資源を生かした都市機能の強化(交通インフラを生かした都市機能の集約・強化) *既存ストック等の利活用や小さな拠点形成による地域活性化(多機能型福祉・地域共生拠点づくりの推進等) *次世代エネルギーの都市的利用の促進(「水素エネルギー」を生かした近未来都市づくり)																			

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
京都府	かめおかし 亀岡市	<p>【亀岡市人口ビジョン】 亀岡市の人口は、平成12年の94,555人をピークに減少を続けており、平成26年10月時点の推計人口は90,572人となっている。(平成29年10月1日現在89,886人)長期展望として平成72年の人口については、現在の自然減、社会減が継続した場合54,027人まで減少すると予想され、若年層の転出抑制と転入促進を図り、合計特殊出生率と純移動率を改善した場合には75,809人が見込まれる。</p> <p>【亀岡市総合戦略】 ○基本目標1 快適で魅力のある定住環境を整える。 現在、このまちに住む人も、新たに居住する人も、豊かに、そして快適に暮らすことができるよう、まちの魅力を磨き、定住促進のための総合的な施策を展開 <具体的施策>付加価値の高い産業の振興と新産業の創出、就労支援の促進、地域ぐるみの子育て支援 等</p> <p>○基本目標2 セーフコミュニティで安全安心の定住環境を整える。 日本で最初のセーフコミュニティ認証都市(平成20年)として、全国に先駆けた取組の蓄積を活かし、市民、多くの団体や専門家と連携・協働して、災害や事故に対する不安や被害を抑える取組を進め、地域医療を確立し、高齢者や障害者とその家族も安心して暮らせるまちづくりを進めるなど、まちぐるみで安全・安心なまちづくりに取組む <具体的施策>セーフコミュニティ体制の整備、地域防災体制の強化 等</p> <p>○基本目標3 交流人口を増加させ、にぎわいを創出する。 京都スタジアム(仮称)の整備により、市全体が「にぎわいを生み出すスタジアム」となるよう、観光や健康づくりなどスポーツを活かしたまちづくりを推進します。また、三大観光や豊かな自然・食材などの地域資源の効果的な活用や、市民ぐるみ、あるいは京都縦貫自動車道のネットワークを活かした広域連携によって、亀岡市の知名度を高める戦略的な情報発信やシティプロモーションを展開することで、国内外からの観光客の誘致を展開 <具体的施策>シティプロモーションの推進、観光受け入れ体制の整備と観光資源の魅力の向上、スポーツを活かした交流の振興 等</p>
京都府	むこうし 向日市	<p>【向日市人口ビジョン】 本市の人口は、平成22年10月に行われた国勢調査では、54,328人で、平成17年の55,041人をピークに初めて減少に転じました。平成26年10月1日現在の人口は54,297人で、わずかながら人口減少が進んでいます。なお、今後数年間は、市域北部で整備が進む桂川・洛西口新市街地への入居が開始され、人口が一時的に増加することが予想されます。しかし、長期的には人口減少の傾向となることが予想されます。 ※ 平成29年10月1日現在、桂川・洛西口新市街地への入居が進み、住民基本台帳人口で56,862人と増加に転じています。</p> <p>【向日市まち・ひと・しごと創生総合戦略】 本市は、京都・大阪の大都市圏の間に位置し、名神高速道路や国道171号が南北に縦断し、コンパクトな市域に、鉄道駅が多数ある交通利便性の高いまちです。本市のこの特性を活かし、住む人にも、訪れる人にも魅力を感じられるまちづくりをすすめ、その魅力を市内外に発信し、まちの価値を高めることにより、誰もが安心して暮らせるまちを目指すものとします。 <基本目標> 1 地域特性を活かして「しごとの場」を創る 2 向日市の魅力を高め、人の流れを創る 3 安心して結婚・出産・子育てできる仕組みを創る 4 時代の要請に合った、安心・安全な暮らしを創る <計画期間> 平成27年度～31年度まで(5年間)</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
京都府	きょうたんとし 京丹後市	<p>京丹後市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンについては、人口問題に対する基本認識として、人口減少は都市部より一層の進行、若年層中心に大都市圏への転出が主因であるため、4つの視点(①若年層・壮年層を中心とした人口流入の促進、②若年層の人口流出の歯止め、③若い世代の就労・結婚・子育てなどの生活環境を快適に整備、④高齢者層をはじめとした健康長寿の一層の推進と市外からの定住化の促進)から人口問題に取り組み、人口対策の効果が十分発現されれば、2060年に出生率2.32、人口移動率を年1%向上し、本市は「7万5千人」程度の人口が確保されると展望しています。</p> <p>京丹後市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、4つの基本目標(①本市にしごとをつくり、安心して働けるようにする、②本市への新しいひとの流れをつくる、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する)に基づき、成果を重視した20の施策(本市経済雇用戦略の企画・実施体制の整備、地域経済を担う商工業の挑戦を支援、農林水産物の生産振興とブランド化・6次産業化、織物業や機械金属業などものづくり産業の成長促進、「(仮称)京丹後未来会議」創設で若者の出番を創出、『美食観光』で「海の京都」の観光を推進、世界ジオパークを活用した「体験型観光」の全面展開、テレワークによる雇用形態の多様化と地元就労の拡大、移住・Uターン支援による次代のまちづくり人材の確保、若者の就労支援と後継者の育成、「子育て環境日本一のまち」の構築とW・L・B(ワーク・ライフ・バランス)の実現、未来を拓く学校教育の充実、市民総活躍のふるさとづくりの推進、生活・観光面で需要が高まる公共交通の充実促進、生涯現役で活躍する健康長寿地域の形成、再生可能エネルギーの地域全面展開と地産地消、魅力的な都市空間の創出と交通アクセス向上の促進、空家対策とうるおいのある住環境の形成、「広域連携」と「多文化共生」による地域の活性化、地域ぐるみによる消防・防災・防犯体制の充実)により、地方創生を推進していきます。</p>
大阪府	ちはやあかさかむら 千早赤阪村	<p>【千早赤阪村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン 平成28年1月策定】 千早赤阪村人口ビジョンは2040年を目標に本村が目指す将来人口の姿と、今後の取り組みの方向性を示すもの。 2010年現在、年少人口が609人、生産年齢人口は3,523人、老年人口は1,878人と、既に人口減少・少子高齢化に突入。 次の3つの視点を基に人口ビジョンを策定。 ①合計特殊出生率の上昇。 ②若年家族の転入の推進、転出者の抑制。 ③交通環境づくりの推進、転入者の受入環境整備、防災対策の強化。 将来人口：2040年人口を約6,000人と展望。</p> <p>【千早赤阪村まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年1月策定】 【基本目標1：地域産業の活性化と雇用の場づくり】 新商品の開発、販路拡大支援などの産業の活性化、森林整備への支援、間伐材の搬出促進、就農支援などの農林業の競争力強化を図り、雇用創出の拡大を目指す。また、現在ある観光資源の付加価値を高め、観光客の増加を目指し、観光産業の充実を図り、雇用促進を目指す。 【基本目標2：新村民の受入れと企業誘致のむらづくり】 空き家の活用、住宅建設の促進、固定資産税等の免除の税制措置や補助制度の創設による企業誘致の促進、雇用の場の確保。 【基本目標3：若者たちが家庭を持ち家族が成長するむらづくり】 積極的な子育てで応援施策の推進。教育経費のサポートなど子どもたちの学力向上と教育環境の充実。 【基本目標4：地域が絆で繋がるふるさとづくり】 地域公共交通のネットワークの構築による利便性の向上、暮らしの安心と希望をつなぐ「小さな拠点」づくりの推進、防犯対策による安全・安心な生活ができる地域コミュニティの形成、大阪府内市町村や南河内地域での観光PR等の広域的な連携の推進。</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
兵庫県	あこうし 赤穂市	<p>【人口ビジョン】 本市の総人口は、平成12年以降減少の一途をたどっており、平成27年に行われた国勢調査では48,567人となっている。また、合計特殊出生率は、同じく平成27年で1.43と全国及び兵庫県平均を下回るまで低下し、出生数自体も減少傾向にあるとともに、婚姻率も低く、晩婚化が進んでいる。さらに、高齢化も進んでいることから、平成17年を境に死亡数が出生数を上回る自然減の状況が続き、転入・転出の社会増減は、平成12年を境に社会減が続いている。</p> <p>このような人口減少の状況から、「赤穂市人口ビジョン」では、兵庫県の合計特殊出生率を目標としつつ、失業率の改善、子育て支援、定住支援等の各種施策を展開することで、中間年である平成52年(2040年)を基点に社会移動±ゼロを目指す推計により、平成72年(2060年)には出生率2.00、出生数300人台を維持し、総人口約35,000人を将来展望としている。</p> <p>【総合戦略】 「赤穂市総合戦略」は、人口ビジョンに掲げる将来展望に向け、「安定した雇用の創出」、「新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代にあった地域をつくり、地域と地域を連携する」の4つの基本目標を踏まえ平成27年10月末に策定した。</p> <p>具体的には、若年層を中心とした転出者の減少と定住者の増加を目指し、就業機会の拡大や安定した雇用確保に取り組むための「直売所等の設置支援」、「塩の商品開発の推進」、移住希望者へのサポートや地域における良質な雇用確保のための「お試し滞在住宅等の貸出体制の整備」、「企業誘致・本社機能受入の促進」、子育て支援の充実や仕事と子育ての両立ができる雇用環境確保のための「幼稚園3歳児保育の実施」、「子どものインフルエンザ予防接種助成」、また、広域連携を充実するとともに、地域間連携による交流人口の拡大を図るための「コミュニティバス、デマンドタクシーの充実」、「連携中枢都市圏・定住自立圏の形成」、「空き家・空き店舗の利活用」など、全92施策(再掲7含む)で構成されている。</p> <p>施策の内訳は新規45、拡充19、継続28となっており、産官学労の各界及び市民で構成された戦略策定委員や、市職員、市議会議員など幅広い分野から出された多くの意見を盛り込み、できるだけ新たな事業展開と実効性が期待できる戦略としている。</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
兵庫県	みなみ 南あわじ市	<p>今年度中の見直しの方向性も含め、総合戦略の概要は下記の通り。下記の目標をかかげ、少子高齢化が進展する中でも活気と魅力を維持増進し続けるまちづくりを実現。それにより、5年後には、人口の社会減ゼロを達成し、更に出生率増大による人口維持を目指す(本年改訂した市の総合計画に基づく)。</p> <p>【基本目標Ⅰ】 地域ぐるみで支え合い、笑顔がたえないまち 子育て世代や若者、高齢者を含めた各世代が、まちづくりや防災などの地域活動への参加を通じて地域ぐるみで支えあい、地域の住民全てが安心して笑顔で暮らせるようなまちづくりをめざす</p> <p>【施策目標】 〔地域コミュニティの創生〕住民が地域の課題を解決する自立的なコミュニティの構築 〔利便性の確保〕歩いて暮らせる快適で住みやすいまちづくり 〔安全・安心の確保〕防災意識の高揚、円滑な消防防災活動の推進</p> <p>【基本目標Ⅱ】働く場を得て、ずっと住み続けたいまち 若者が住み続けたいと思える、働く場や住居の充実と情報を提供する仕組みを整える。既存産業の活性化と、地域資源を活かした新たな起業機会の創造を図り、若者にも魅力ある雇用を提供するとともに、高齢者や障害者の雇用・活躍の場の拡大を通して人材活用と健康寿命の伸長を進める。</p> <p>【施策目標】 〔雇用の創出〕高齢者等の雇用・活躍の場の拡大(高齢者等元気活躍推進事業)・企業誘致の促進、吉備国際大学と連携した地域おこしの促進 〔地場産業の活性化〕農業経営の効率化と農畜産物の安定的な生産、淡路瓦や淡路手延素麺を代表とする地場産業の魅力増進 など 〔移住・定住の促進〕地域産品拡販等戦略産業への地域外人材の活用、出会い・交流の機会の提供</p> <p>【基本目標Ⅲ】 魅力と味力があふれるまち 自然や歴史・文化など本地域が古来保有する「魅力」、本地域の特色である一次産業の持つ「味力」の両面から新たな価値を創出し、観光・交流人口の増加による活気あふれるまちをめざす</p> <p>【施策目標】 〔魅力の創出〕歴史・文化の高揚によるまちの魅力の更なる向上、官民あげた効果的な魅力発信 〔味力の発信〕豊かな農畜水産物の味力強化と販売促進 〔公共交通網の充実〕マイカー以外の客層の拡大のため島内連携した公共交通網の整備</p> <p>【基本目標Ⅳ】 子育てしやすいまち 子どもたちが安全で安心して学ぶことのできる環境を整備するとともに、より一層子育て環境を充実させることで各家庭がゆとりをもって子育てできるまちをめざす。また、「ふるさとを思う心」(郷土愛)を育み、創造性ある次世代の若者の育成をめざす。</p> <p>【施策目標】 〔子育て支援の促進〕三歳以上保育無料化はじめ子育て世帯の負担軽減、子育てノウハウ支援の充実 〔学びの充実〕郷土芸能活用による表現力教育の強化、防災教育を通じた判断力や探究心の育成、歴史遺産の発掘調査・渦潮等自然資源の保全と鑑賞環境整備</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
奈良県	ごじょうし 五條市	<p>本市における総合戦略は、第5次五條市総合計画が掲げるまちづくりの基本理念や将来像など、普遍的な方向性は踏襲しつつも、本市を取巻く環境の変化と「まち・ひと・しごと創生」に向けた最重要課題を捉え、期間・対象を絞り集中的に取り組むものであり、以下の4つの重点施策を設定し展開する。</p> <p>(1)子どもを育てたいまちをつくる 地域・企業・行政が一体となり、将来を担う人を育てる環境を整備する</p> <p>(2)安心して定住できる都市をつくる 健康増進環境・公共交通・買物環境の整備、住宅流通の活性化、防災・防犯環境の整備を図る</p> <p>(3)地域資源で新たな産業をつくる 山林のエネルギー利用や水ビジネスの形成、農産物や歴史・文化の高付加価値化を図る</p> <p>(4)地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる 動植物や歴史文化を組み合わせ、本市独自の魅力を高め、全国に発信する</p>
奈良県	たわらもとちよう 田原本町	<p>田原本町の人口は、平成17年国勢調査の33,029人をピークに減少に転じており、今後、このまま推移すると2040年には24,061人、2060年には17,904人になると推計されています。これらの原因は、人口置換水準を大きく下回る合計特殊出生率と子育てファミリー世代の転出超過であると考えています。この状況を食い止め、自然動態のマイナスを最小限に抑えるため、総合戦略においては、町民アンケート結果を反映させ、今後の目指すべき方向性および、それらを推進する施策の基本目標を次のとおりとし、2060年の目標人口を21,000人と決めました。</p> <p>【今後の目指すべき方向性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定住促進と人口流出の抑制 2. 結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現 3. 地域の資源を生かした活性化 <p>【施策の基本目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 田原本町に住み続けることができる働く場を創る 2. 田原本町への新しいひとの流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する <p>これらの基本目標に従い、雇用の確保や住宅支援等による定住促進、結婚への願いをかなえる取り組み、子育てへの切れ目のない支援、保育・教育環境の充実等の施策を展開し、出生率の上昇、転出超過の抑制を図ります。</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
鳥取県	ほくえいちょう 北栄町	<p>【人口ビジョン】 対象期間：2040年まで 総人口は、1995年の17,228人をピークに減少し、2015年には14,771人、2040年には11,051人と推計されている。特に、社会増減においては、高校卒業後に進学等で流出した10代後半の層が、20代前半で帰還する割合(帰還率)は10.6%にとどまっているが、帰還率の低下は、近い将来に子どもを産み育てる年齢層の減少であり、将来の人口減に直結するものである。また、合計特殊出生率は2040年まで概ね1.45で推移すると推計されている。目標は以下のとおり。 ○2040年に総人口約12,000人を確保 ○10代後半で転出した人のうち20代前半で転入する人の割合(帰還率)10.6%を2040年までに50%程度に引き上げ ○2030年までに合計特殊出生率を2.07に段階的引き上げ</p> <p>【総合戦略】 計画期間：平成27年度から平成31年度まで(5年間) 7つの基本目標と概要は以下のとおり。 ①農業の振興…「夢と希望が持てる農業のまち」として、農業者が誇りを持って次の世代へつなげていく。 ②働きやすいまちづくりの推進…企業誘致と町内企業への支援を行う。雇用相談窓口の設置や新規雇用を行う企業に対する助成により、雇用の安定と創出を目指す。 ③観光の振興…自然環境や名探偵コナンをはじめとした観光資源の活用、山陰自動車道(北条道路)及び北条湯原道路等の高速ネットワークの活用により、特色ある観光振興を図り、交流人口を増加させ、賑わいと活力を創出する。 ④移住定住の促進…雇用や住まい、子育て等の受け皿に関する総合的な環境整備を行い、移住者向けの情報発信を強化する。 ⑤子どもを産み育てやすいまちづくりの推進…子育てを総合的に支援し、働くことと子育てを両立できる社会を実現する。 ⑥未来をつくる教育の推進…豊かな自然と優しい地域の中で、子どもがすくすくと育つ環境づくりを行う。将来、地域を担う人材を育成する。 ⑦環境にやさしいまちづくりの推進…木質バイオマス等の再生可能エネルギー活用、省エネルギーフォームや住宅用太陽光発電システムの導入等により、エネルギーに係る費用が地域内で循環する仕組みを確立する。</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
岡山県	<p>にいみし 新見市</p>	<p>【新見市人口ビジョン】 本市の人口は、2010年には1955年の人口66,146人の約半数にあたる33,870人となり、一貫して減少傾向を示しており、国立社会保障・人口問題研究所のデータによる将来人口推計では、2055年には2010年の人口がほぼ半減すると推計されている。 この現状を踏まえ、本市が目指すべき将来の方向を次のように定め、2025年の目標人口30,000人を維持する。 1 若い世代の定住の希望や、本市への移住・定住の希望がかなえられ、住み続けられる魅力あるまちとする。 2 結婚・出産・子育てへの支援 3 担い手の育成・雇用の創出を図る</p> <p>【新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略】 人口ビジョンに掲げた本市の将来展望を踏まえ、安全・安心で快適な生活環境の整備を行うとともに、人口減少問題の克服に向け、次の5つの基本目標を掲げ、各種施策を実施している。</p> <p>1 定住人口の増加に向けた取組 社会増減 転出超過227人(H26)→転入超過(H31)</p> <p>2 地域資源を活用した交流の活性化と産業振興 主な観光資源の入り込み客数 32万人(H26)→35万人(H31) A級食材の総販売額 15億9,190万円(H26)→22億円(H31)</p> <p>3 雇用機会の創出 新規雇用者数 509人(H26)→20%増(H31)</p> <p>4 担い手不足の解消 第一次産業従事者のうち、15～59歳の占める割合 24%(H22国勢調査)→35%(H32国勢調査)</p> <p>5 女性が輝くまちの実現 合計特殊出生率 1.59(H25)→1.70(H31)</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
岡山県	はやしまちょう 早島町	<p>【早島町人口ビジョンの概要】 本町を東西に横断する国道2号が1970年に開通したことを機に宅地開発が進み、本町の人口は急速に増加し、2004年には12,000人を超えたものの、以後微増減の状況となっています。平成3年策定の「新総合計画」において、将来目標人口13,500人を掲げていますが、その目標を達成していません。また、高齢者人口が増加(1990年:13.4% → 2010年:23.0%)している現在の人口構成が続くと、世代交代のたびに人口は減少していくこととなります。</p> <p>政令市の岡山市と中核市の倉敷市に隣接している本町においては、エリアとして一体性を高め、近隣からの転入を促進しつつ、同時に教育や子育て、高齢者福祉等の分野で差別化を図り、居住地として選ばれるまちであることが、将来にわたり持続可能な早島町であるために必要であると考えています。</p> <p>そのために、結婚・子育て支援による「出生率の改善(2015年:1.89 → 2035年:2.00)」とJR早島駅周辺における宅地供給による「定住促進の効果(2025年まで:新規転入400世帯)」の対策に取り組む、「2030年の目標人口13,500人」を達成することとしています。</p> <p>【早島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要】 早島町人口ビジョンを踏まえ、そこで掲げた人口見通しを達成するための施策のあり方をこの総合戦略の中で整理しており、「2030年の目標人口13,500人」という目標人口の達成と、その将来にわたっての維持を最上位の目的としています。この目標達成のため、</p> <p>①「高い出生率を活かし、いち早く人口の安定を図る。」 ②「働く人に選ばれる住生活の環境・基盤を早急に整える。」 ③「子育てを支える、子育てと両立する仕事を創出する。」</p> <p>という「育・職・住」の3つの視点を念頭に、その各分野の強化を図り、目標を定め個々の施策・事業へ展開を図ることとしています。</p> <p>また、早島町総合戦略の推進にあたっては、庁内全部門のほか産学官金労言や住民の参画による「オールはやしま」での取り組みとしています。</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
岡山県	みさきちょう 美咲町	<p>●地方人口ビジョンの概略 対象期間:2060年(平成72年度)まで 将来推計人口:社人研推計 7,029人 2040年以降の特殊合計出生率を2.22と設定し、一定の施策を講じた場合 9,095人 目指すべき人口規模:2060年(平成72年度)の人口規模 9,095人 ・2040年以降の特殊合計出生率を2.22と設定し、毎年、5～9歳の子ども2人及び25～29歳の親2人の男女4人家族が1組、10～14歳の子ども2人及び30～34歳の親2人の男女4人家族が1組、以上合計2組の家族が転入してくると仮定する。</p> <p>●地方版総合戦略の概要 計画期間:平成27年度から平成31年度までの5年間 ①基本目標1 ひとが生きる、美咲町のしごとづくり ・新たなしごとの創業支援と既存産業の競争力強化、農林業とエネルギー分野の需要拡大への支援、多様な就労支援環境整備と人材のマッチング支援 ②基本目標2 ひとが集う魅力づくりと定住促進 ・ブランド力の強化・魅力づくり、都市・町外人口との交流の促進、定住促進 ③基本目標3 結婚・子育ての支援と教育で選ばれるまちの実現 ・子育て支援施策の充実、独自性のある教育体制 ④基本目標4 いくつになっても元気でいられる健康づくり ・地域での健康づくりの促進 ⑤基本目標5 安全・安心な暮らしと生活支援の推進 ・ひとが行き交う拠点づくり、地域防災・見守りネットワーク ⑥基本目標6 公共施設や空き家等の資源集約と活用 ・公共施設の活用と集約・維持管理、空き家対策の推進</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
広島県	しょうばらし 庄原市	<p>【庄原市人口ビジョンの概要】 本市の人口は昭和22年の92,240人をピークに減少が始まり、高度経済成長期にその流れが加速し、以後も継続して減少している。年齢3区分別人口では、昭和55年を境に老年人口が年少人口を上回り、少子高齢化が進行している。人口動態は自然増減、社会増減ともに減少で推移しており、双方の要因で人口減少が続いている。国立社会保障・人口問題研究所が公表した本市の推計人口は、現状のままでは平成52年には24,553人まで急減すると推測されており、年少人口・生産年齢人口が引き続き減少することに加え、増加していた老年人口も平成27年以降は減少に転じるなど、総人口の減少に拍車がかかると見込まれている。 平成20～24年の合計特殊出生率は全国(1.38)、広島県(1.54)と比べ、1.81と高い水準にあるが、人口置換水準(2.07)には及ばない状況である。 これらの状況を踏まえ、人口減少抑制に向けた総合的な取り組みを強化継続する必要があることから、「青年層の定住継続」「青年層の転入促進」「青年層の結婚・出産の希望実現」、「子ども育成と子育て支援の充実」、「本市出身者の帰郷促進」を重点事項とした取り組みを進めることで人口減少を抑制し、平成37年における本市の人口規模を32,717人と設定した。</p> <p>【庄原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要】 “しごと(雇用・起業)”を創出することで“ひと(定住人口)”を増加させ、“ひと”が増加することで“しごと”が生まれるという、“しごと”と“ひと”の好循環の構築を意図し、その好循環を“まち(豊かな地域・安心な暮らし)”が支えるという発想を基底に3つの基本目標を設定し、各施策を展開する。</p> <p>■基本目標1. しごとの創生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本施策(1) 里山の産業いちばん大作戦(雇用の強化・拡大) 本市の基幹産業である農林業の振興、小規模事業者支援、求人・求職ニーズのマッチング、市内全域の周遊観光や体験型教育旅行等の新たな観光産業促進 など ・基本施策(2) 里山で起業いちばん大作戦(起業の促進) 農業での自立に挑戦する個人・法人への支援による担い手の確保および新規就農者の育成、起業する青年層への経済的支援 など <p>■基本目標2. ひとの創生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本施策(1) 里山に転入いちばん大作戦(転入定住の促進) 新規転入希望者個々のニーズに応じた支援、帰郷を希望する本市出身者への情報提供や支援、相談から定住までのきめ細かいフォロー、空き家の活用、新たなライフスタイルの提案、転入後の地域サポート など ・基本施策(2) 里山の若者いちばん大作戦(青年層の転出抑制) 青年層によるまちづくり活動に対する支援 など ・基本施策(3) 里山で子育ていちばん大作戦(結婚・出産・子育て応援) 結婚や出産の希望者への支援、出産医療の再開に向けた環境構築、企業等におけるワーク・ライフ・バランスの理解促進、児童虐待や発達障害などの相談支援体制充実と関係機関との連携ネットワーク強化 など <p>■基本目標3. まちの創生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本施策(1) 里山の生活いちばん大作戦(豊かな地域づくり) 公共交通の利便性確保、汚水処理施設の普及による美しい里山環境の維持、空き家の活用、危険空き家撤去の促進、市街地における賑わい創出、市道・農林道の整備推進による効率的な道路ネットワーク構築 など ・基本施策(2) 里山の安心いちばん大作戦(安心環境の維持) 冬期の高齢者の生活不安を解消するための一時居住施設の整備、超高速情報通信網を活用した住民告知端末整備、防災・防犯体制の充実、地域診療所の維持、医療従事者の確保・育成 など

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
山口県	はぎし 萩市	<p>【萩市人口ビジョンの概要】</p> <p>■現状 萩市の人口は、昭和30年の97,744人を境に年々減少し続け、平成27年国勢調査では49,560人とピーク時と比べ半減している。特に若年世代の社会減は顕著となっていることから、少子化の流れに歯止めをかけるだけでなく若者の流出を食い止めなければ、人口減少は一層進む状況にある。</p> <p>■人口の将来展望 本市では、今後平成 37 年(2025年)には転入と転出(社会増減)の均衡を実現し、平成 37 年(2025年)には出生率を国の希望出生率1.8に、平成 42 年(2030 年)には県の希望出生率1.9 に、平成 52 年(2040年)には人口置換水準の2.07に向上させることを目指した施策を展開していくこととしており、これらが実現されれば、平成 72 年(2060 年)における人口が27,000 人程度の水準に維持されることが可能となる。</p> <p>【萩市総合戦略の概要】</p> <p>本市は、わが国でも有数な観光地であるとともに、豊かな自然環境を活かした多様な農作物、天然の優良漁場、全国ブランドの萩焼など、多岐にわたる地域資源を有している。しかしながら、本市で生まれ育った若者の多くは就職を契機に都市部へ流出する傾向にある。この流れを止め、活力のある地域社会の実現に向け、地方版総合戦略において目標や施策を掲げ、「萩の創生」に向けた取組を実施する。</p> <p>■基本的な施策の方向 「萩にあるもの、萩にしかないもの」を活用した「萩の創生」</p> <p>(1) 人口減少の抑制に向け、移住・定住に関する希望を実現 (2) 若い世代の働く場を創出し、結婚・出産・子育ての希望を実現 (3) 人口減少・超高齢化社会に対応した多様な地域を形成</p> <p>■7つの政策の基本目標</p> <p>(1) 歴史・文化・自然を活かした観光のまちづくり(観光客の増加 H26:2,031千人 ⇒ H31:2,500千人) (2) 地域資源を活かした「しごと」の創出(若い世代(20~34歳)の就業率の向上 H22:78.2% ⇒ H32:80.0%) (3) 萩の魅力を活かした移住・定着の促進(転出超過の抑制 H26:214人 ⇒ H31:107人) (4) 希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の充実(合計特殊出生率の向上 1.49(H24~H26平均) ⇒ 1.65(H29~H31平均)) (5) 誇りと志を抱き未来を拓くひとづくり(高校新卒就職者の市内就業率の向上 H26:26% ⇒ H31:28%) (6) 生きがいをもち健康で自立した暮らしの実現(健康長寿の延伸 H24⇒H31 男性76.72歳⇒77.99歳 女性82.08歳⇒83.25歳) (7) 地域特性を活かした安全で快適なまちづくり(交通事故、火災、犯罪の抑制)</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
山口県	美祢市 <small>みねし</small>	<p>【美祢市人口ビジョンの概要】</p> <p>■現状 本市では、転出が転入を上回る「社会減」、死亡が出生を上回る「自然減」が続いており、総人口が年々減少している。総人口が減少する一方、65歳以上の人口は年々増加し高齢化が進行するとともに、「合計特殊出生率」は全国平均を上回るペースで減少を続け、少子高齢化が急速に進んでいる。今後対策を講じず、このままの人口動向が続いた場合、推計人口(国立社会保障・人口問題研究所による)は、平成52年に19,247人、平成72年には13,636人まで落ち込むことが予想されている。</p> <p>■人口の将来展望 次に掲げる「人口減少対策の方向性」を踏まえた施策を実施することにより、人口の将来展望として、平成72年(2060年)に25,000人の人口維持を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 多様な資源、人材を生かして、共に働ける仕事をつくる (2) 美祢市を知って、来て、住んでもらう流れをつくる (3) 結婚・出産・子育ての途切れないサポートと、地域に根付く次世代を育てる (4) 住み心地の良いまちをつくる <p>【美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要】</p> <p>■総合戦略の基本目標 本市では、『市民・事業者・行政が共に考え、共に生きる』を総合戦略の基本的な考え方として、人口ビジョンにおける「人口減少対策の方向性」を踏まえ、次の基本目標を設定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 美祢市の資源を活用した「雇用をつくる」 (2) 惹きつける魅力を活かした美祢市への「ひとの流れづくり」 (3) 美祢市で結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりと「次世代の育成」 (4) 美祢市にずっと住みたくなる「まちの基盤づくり」 <p>■総合戦略における重要戦略と展開すべき施策 総合戦略では、人口ビジョンで示した将来展望の達成、基本目標の実現に向け、次に掲げる「重要戦略」と「展開すべき施策」の大きく2項目で構成し、両者が連携しながら進めていく。</p> <p><重要戦略></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) Mine秋吉台ジオパークを通して地域に対する誇りと郷土愛を育むとともに、プロモーションにより美祢市の知名度を高める (2) 共生への意識醸成を進め、新たな雇用をつくる (3) (仮称)美祢市観光まちづくり組織(DMO)の構築により、新たな人の流れをつくる基盤を整える (4) 高齢者が多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要な医療・介護を受けることができる移住環境を整える(生涯活躍のまち構想) <p><展開すべき施策>(基本目標ごとに設定)</p> <p>基本目標(1) 美祢市の資源を活用した「雇用をつくる」</p> <ul style="list-style-type: none"> > 共生がつながり仕事づくり > 観光立市を牽引する産業・雇用の創出 > 農林資源の高付加価値化による雇用の創出 <p>基本目標(2) 惹きつける魅力を活かした美祢市への「ひとの流れづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> > 美祢市の魅力が伝わるプロモーション活動 > 住みたいと思わせる、おもてなしの提供 > シルバー世代に選ばれる受け皿づくり <p>基本目標(3) 美祢市で結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりと「次世代の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> > 結婚へつながる、きっかけづくり > 出産と子育てをサポートできる地域づくり > ジオパーク活動を通して育む郷土愛 <p>基本目標(4) 美祢市にずっと住みたくなる「まちの基盤づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> > トップクラスの安全・安心なまちづくり > 住み続けられるネットワークづくり

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
高知県	やすだちよう 安田町	<p>○町の人口は、ピーク期(約7,000人)の1950年以降減少が続いており、2015年国勢調査においては2,631人で、国の推計では、2060年には885人に減少するとされている。このため、①若者の人口流出に歯止めをかける。②若者の結婚・出産への希望を実現する。③高齢者が活躍できるまちづくりを進める。④安田町外から人を呼び込む。を4つの柱に、2050年以降の合計特殊出生率を2.27(2014年は1.44)へ上昇させること及び2020年以降の社会増の実現により、2060年の人口1,811人を目指して各種取り組みを進めていくこととしている。</p> <p>○町総合戦略では、国、県の総合戦略及び町人口ビジョンを踏まえ、以下の4つを基本目標と定めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方における安定した雇用を創出する。 2. 地方への人の流れをつくる。 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する。 4. 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。 <p>まず、基本目標1では、雇用の創出目標を5年間で55人と定め、農業振興を核とした第1次産業の活性化や地域資源を活用した新たな雇用の創出に取り組むこととしており、基本目標2では、県内外からの移住者目標数を5年間で100人と定め、移住・定住を促進する基盤整備や地域資源を活かした魅力ある観光振興により、移住・定住・交流人口の獲得に取り組むこととしている。</p> <p>また、基本目標3では、子育て環境の向上による合計特殊出生率や子育て満足度の向上とともに、年間5組の成婚数を、基本目標4では、旧中山小中学校校舎を活用した多機能総合交流拠点施設の整備のほか、集落活動センターやあったかふれあいセンター事業の充実などにより、町民意識調査のまちづくり指標の1つである「暮らしやすいと感じる割合」を現状の46.9%から60%に上昇させることを目指している。</p>
福岡県	ちくごし 筑後市	<p>筑後市では将来人口について、国及び県の長期ビジョンに示す人口目標や市民の希望の実現を踏まえ、「2040年時点で人口45,000人～46,000人」を当市が目指すべき将来人口として展望している。将来人口を展望するにあたって前提条件としているのが、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①合計特殊率の上昇(2030年に市民希望出生率の1.96、2040年に人口置換水準の2.07を達成、以降維持) ②転入超過(2020年までに年間20人の転入超過を達成し、以降維持) <p>の2点である。</p> <p>人口減少問題を克服し、まち・ひと・しごとの一体的な創生を図っていくため平成27年度に「元気な筑後市創造戦略」を策定しており、創造戦略の推進に当たって、次の5つの基本目標を設定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ～ちくごで働く～ 希望をかなえる雇用の場を確保する 2. ～ちくごにひとをよぶ～ 筑後市への新しい人の流れをつくる 3. ～ちくごで育てる～ 安心して子どもを産み、育てられるまちをつくる 4. ～ちくごを愛する～ 豊かな心を育み、筑後市に愛着を持つ人材を育てる 5. ～ちくごで暮らす～ 安全・安心で活力のあるまちをつくる <p>基本目標5の基本事業として、「校区コミュニティ設立及び校区別まちづくり計画策定の推進」があり、一行政区の自治活動では限界があるとともに円滑な実施が困難な取組もあることから、校区単位の自治活動を推進する必要があると考えている。</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
福岡県	とうほうむら 東峰村	<p>■地方人口ビジョン 東峰村の人口は、1950年の8,666人をピークに、以降、60年以上にわたって人口減少が続き、2010年の国勢調査では2,432人となり、ピーク時から6,234人の減少となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後さらに人口の減少は進み、2060年には855人になると見込まれています。</p> <p>■地方版総合戦略 少子高齢化に伴う人口減少と克服し、安心して生活を営み、仕事に励み、消費を行うことができる「東峰村」を構築していくため、村の持つ特定・魅力を活かし、人口、経済、地域社会の課題に一体的に、持続的に取り組んでいきます。村の人口動態の現状や将来推計を踏まえ、以下の5つの施策の基本目標を設定し、当村の未来を創生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標①: 地域資源を活かした魅力ある”しごと”をつくる ・基本目標②: 村を担う人材の育成・定着とIJUターンを進める ・基本目標③: 結婚・出産・子育てしやすい村をつくる ・基本目標④: 誰もが住みたい、安全・安心で美しい村をつくる ・基本目標⑤: ほかの地域との連携による魅力ある圏域づくりをめざす <p>5つの基本目標を実現するため、基本目標ごとに数値目標を設定しています。数値目標に基づき、施策、事業を立案し、KPIの設定を行っています。</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
熊本県	やっしろし 八代市	<p>●地方人口ビジョン 本市においては、1955年(昭和30年)をピークに人口が減少しはじめ、一旦増加に転じたが、1980年(昭和50年)以降は人口が減少し続けています。さらに、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2040年には本市の人口は93,100人となり、2010年に比べ約30%減少し、なかでも年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)が著しく減少するため、高齢化率が39%となる見込みです。 「八代市人口ビジョン」においては、「1 だれもが希望を持って暮らせる社会づくり」「2 人をひきつけ、人が集まる活気づくり」「3 魅力ある産業と雇用の創出による活力づくり」「4 やっしろの発展を支えるまちづくり」の4つの視点で地方創生の施策を展開することにより、合計特殊出生率1.65が、2030年に2.00(市民の希望出生率)に、2040年に2.07(人口置換水準)に上昇し、その後2.07で推移し、かつ若い世代の定住やUターンの希望が実現し、人口の流出に歯止めがかかると仮定した場合、2040年に102,300人、2060年に86,900人との人口の将来展望を示しています。</p> <p>●地方版総合戦略 「八代市総合戦略」においては、「八代市人口ビジョン」による人口の現状分析や市民の意識・希望を踏まえ、「まち・ひと・しごと創生」が目指す、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すために、次の基本目標及び具体的な施策を設定し、平成27年度から平成31年度までを期間として施策を展開します。 (基本目標及び具体的な施策) 1. 魅力ある産業と雇創出、活力に満ちた“やっしろ” <具体的な施策> ①多様な地域資源を活かす (1)稼げる農林水産業の実現 (2)フードバレーやっしろ基本戦略構想の推進 ②多彩な地域産業を支える (1)成長産業化への多面的な支援の展開 (2)「人材」の確保・育成・支援 (3)基幹産業の支援・強化 ③南九州のゲートウェイとしての拠点性向上 (1)国際貿易港「八代港」の振興 2. 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やっしろ” <具体的な施策> ①交流人口の拡大 (1) 地域資源を活かした交流拡大の推進 (2)世界に打ち出す観光業の展開 (3)スポーツツーリズムの推進 ②移り住みたい、住み続けたいまちづくり 3. 誰もが希望をもって暮らせる“やっしろ” <具体的な施策> ①結婚・出産・子育ての希望をかなえる (1)結婚・出産・子育てへの支援の展開 (2)働きながら子育てしやすいまちづくり ②健やかな暮らしの実現 (1)健やかで安心な暮らしの確保 (2)学び・教育の充実 (3)女性の社会参画の支援 4. “やっしろ”の発展を支えるまちづくり <具体的な施策> ①誇れるふるさとづくり (1)特色ある地域づくり ②暮らしの拠点づくり (1)「生活基盤」の整備 (2)災害に強いまちづくり (3)持続可能な公共交通体系の構築 (4)地域間連携の推進 (5)行政の効率化</p>

派遣希望市町村一覧(詳細版)

都道府県	希望市町村	当該市町村の地方人口ビジョン・地方版総合戦略の概要
沖縄県	<small>きんちよう</small> 金武町	<p>本町の人口ビジョンでは、「勢いのある自然増と、マイナスが懸念される社会増減」となっており、2010年現在では人口は増加傾向にある。また、1985年以來、自然増となっており、この自然増が人口の増加を支え、合計特殊出生率も、全国的にみて高い水準にある。現在のところ、転入数と転出数はほぼ均衡しており、ファミリー層の移動が多い特徴があり、転入・転出とも10代後半から30代までの移動が多く、アンケート等によれば、町民は定住したい意向が強いが、交通の利便性や仕事の有無等によって流出する可能性も秘めている。さらに、高齢化はかなり進んでおり、すでに「超高齢社会」となっており、まちづくりの中心となるべき生産年齢人口の割合が類似団体等と比較して小さく、今後の金武町の活力の低下が懸念され、1世帯あたり人員は年々減少しており、核家族化・独居化が進んでいる。そういった状況の中、金武町としては、2060年までに12,000人の人口増加を目標としており、5年ごとに、合計特殊出生率を「0.02」増加させることを目指し、2060年に合計特殊出生率「2.35」を目指すため、安心して出産・子育てしやすい環境の維持・創出、若い世代の人材育成、就労支援等の整備を実施していく。</p> <p>本町の 地域総合戦略では、金武町の現状を踏まえて、基本目標1「金武町の魅力を活かした雇用の場を創出する」、基本目標2「金武町へのひとの流れを受け入れる基盤をつくる」、基本目標3「町民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、基本目標4「金武町の特徴を活かした豊かなまちづくりを推進する」の4つ目標を掲げている。</p> <p>基本目標1の個別施策では、これから働く人、町内の産業で働いている人に支援をし、企業誘致等により雇用を創出する。</p> <p>基本目標2の個別施策では、定住人口増加を目指した環境整備及び交流人口を増加させる環境の整備を促進する。</p> <p>基本目標3の基本施策では、町民が安心して結婚・子育てできる環境を創出し、子どもの学びの機会を支援する。</p> <p>基本目標4の基本施策では、安心して住み続けられるまちを創出する。また、「海外雄飛の里」づくり及び心豊かなまちづくりを推進し、まちの魅力を発信する。</p>